

こだま Q&A

Q85

前立腺検査の PSA には、「EIA」と「高感度」の2種類がありますが、この違いは何でしょうか？

A85

PSA は、前立腺癌や前立腺肥大症で上昇しますが、特に前立腺癌で顕著に増加します。

「EIA」については測定範囲の下限が0.9までしか測定できませんが、「高感度」においては0.008まで測定できます。そのため手術後の治療経過観察や再発の推測に有用となります。

また、診療報酬点数も同一であるため、現在では「高感度 PSA」の方が主流の検査方法となっています。（下記参照）また、当検査センターでは、高感度 PSA を所内導入しており当日検査を行っております。

以上より、当検査センターでは「高感度 PSA」を推奨しています。

項目名	検査方法	基準範囲 (ng/mL)	測定下限値 (ng/mL)	所要日数	実施料	判断料 (生Ⅱ)
高感度 PSA タンデム	CLEIA	4.00以下	0.008	1~2	134	144
PSA(前立腺特異抗原)	EIA	1.8以下	0.9	2~5	134	144

お問い合わせ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 担当 生化・免疫係

きやつちボール

当検査センターは平成28年10月に医療関連サービスマーク（衛生検査所業務）の認定を取得しましたが、早くも今年が更新の年となりました。更新審査は初回認定時に比べ、かなり厳しいと言われており、全職員でその準備に取り組んでいます。今年は、初回認定取得の準備で中心となった職員が講師となり、次回更新時の実地調査に立ち会う職員の教育にあたっています。書類調査においても、漏れのないように再確認しています。

今後も引き続き、良質な医療関連サービス提供の維持・向上に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

吉井 千代子（生化・免疫係主任 兼 品質保証室主任）

医療関連サービスマーク



<広報委員> 谷敷 圭美 / 橋本 健 / 藤井 ひとみ / 三宅 康雄 / 加藤 与旨多 / 藤本 彩咲日

*本誌はウェブページでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/newsletter>